

## 上部胃癌または食道胃接合部癌に対する噴門側胃切除術の至適再建法の検討

### 1. 研究の対象

2016 年 4 月～2019 年 3 月に胃癌に対して、噴門側胃切除術が行われ、ダブルフラップによる食道残胃吻合、ダブルトラクト再建術のいずれかの再建方法が施行され、術後 1 年経過した方。

### 2. 研究目的・方法

研究目的・方法：

上部胃癌または食道胃接合部癌に対して、噴門側胃切除を行われた患者を対象として、各種機能検査、QOL、栄養学的な比較をすることで、噴門側胃切除術後の至適再建方法を明らかにします。

研究期間：研究計画承認日～ 2021 年 3 月

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療情報名（患者背景：年齢、性別、身長、体重、腫瘍因子：TNM stage、組織型、手術情報、栄養学的採血項目等）

対象収集時期：研究計画承認日～ 2021 年 3 月

検体名（血液）

検体採取時期 研究計画承認日～ 2021 年 3 月

採取方法：（採血）

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：大阪国際がんセンター 消化器外科 新野 直樹

住所：〒541-8567 大阪府中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

-----以上